

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぽけっと 横浜センター北教室
公表日	2026年 2月 20日
利用児童数	35
回収数	33 (ごきょうだい2家族)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	0	0	0	・玄関から入って直ぐの広々とした空間が親子で気に入っています。伸び伸び過ごせていいと思います。 ・広いスペースで身体を動かすプログラムを取り入れてもらい、運動が好きになってくれて嬉しいです。 ・集団活動・個別活動ともに十分なスペースがあると思います。 ・環境・設備に関して申し分ありません。	大部屋では身体を動かして伸び伸びと、個室では静かに集中して取り組めるようにメリハリをつけて支援を続けてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	0	0	0	・子供一人一人に担当の先生がついてくれるので、安心して預けることができます。 ・先生がいつもたくさんいることに驚きました。見学时も担当の先生がついてくれて、手厚いと思います。	安心してご利用いただけるよう、職員複数の目でお子さんの様子を見守っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31	0	0	2	・教室が入っているマンションにエレベーターがあるので、ベビーカーや抱っこでも通所しやすいです。 ・集団活動に加わることが難しいので、絵カードや写真も使って声掛けしてもらっています。 ・分かりやすく、落ち着いて活動できる環境だと思います。 ・個室の中で見たことがないのでわかりません。	トイレの入り口に段差があるため、怪我の無いように必ず職員が見守り、小さなお子さんには手を添えてサポートしています。 療育参観や支援計画の面談に来ていただいた時に、教室の中もご案内していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	0	0	0	・清潔で整理された環境だと思います。 ・子供の目線の高さに玩具や絵本が置いてあって、分かりやすいと思います。 ・玩具の種類がたくさんあって、見学に来た時にすごいいいと思いました。分類分けされていて、選びやすく片付けやすいと思いました。	普段から小まめに清掃を行い、引き続き感染症予防にも努めます。 小さなお子さんの利用時には、床にマットを敷いて安全に過ごせるよう対応していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	0	0	0	・言葉が出なくて通い始めましたが、言語聴覚士の先生をはじめ様々な資格を持った先生方があらゆる角度でセラピーをしていただいたおかげで、会話をすることができるようになりました。 ・初めての母子分離でしたが、初回から安心してお任せすることができました。 ・入会して半年ですが、今までの遅れを取り戻すかのようにできることが増え、意思疎通や感情・人や物への興味も一気に出て、教室で学んだことが家でもできるようになっていて嬉しく思っています。 ・文字の読み書きやお友達との交流など、どのようにサポートしたら良いのかわからない部分で本当に助けて頂いています。 ・どの先生も特性を理解した、今必要な支援をしてくださっていると思います。	保育士、児童指導員、言語聴覚士、公認心理師が在籍しております。それぞれの専門性を活かして、支援の質の向上を目指し職務に邁進して参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	0	0	0	・支援プログラムに沿った支援だと思います。	本部ホームページに公表しております。支援プログラムに沿って支援を遂行していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	0	0	0	・子供の特性と、その時々課題にぴったり合ったオーダーメイドカリキュラムを組んでいただき、とても効果があったと思います。親の悩みに丁寧に耳を傾けていただき、それが課題へとリンクしていて連携もとっていただき、感謝しています。 ・保護者の願いをもらさず計画に入れてくださっています。	お子さまの気持ちと保護者様のご要望のどちらも取り入れた支援計画の作成を心がけております。一人のお子さんの支援計画にはカンファレンスを2回行い、日々の療育のデータと照らし合わせながら職員で意見を出し合って作成を進めています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援力イドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	0	0	1	・どの項目も適切に設定され丁寧に説明いただいています。 ・保育園に娘の様子を見に行ってくださったこと、とても嬉しかったです。 ・幼稚園に頻繁に行っていたが、家庭と園との懸け橋にもなっていたが、良かったです。 ・幼稚園に行っていたこと、より具体的に課題が見え、成長に繋がりました。	お困りごとを減らして日常生活も園生活も安心して過ごすことができるように、それぞれの項目ごとに目標を定め、その実現に向けて取り組んでまいります。 今後とも、保育園・幼稚園との連携もご要望に応じて進めていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	0	0	0	・計画に沿った支援を、子どもが楽しく取り組めるよう行ってくださっています。 ・入会したての頃はあれもこれも心配な事がたくさんありましたが、年長になって困り事が減ってきました。根気よくセラピーをしていただき、年齢相応に発達が進んできたと感じます。	全職員共通理解を図り、支援計画に沿った支援を行っています。その日の支援内容と様子について毎日の朝礼と終礼で報告・確認しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	1	0	1	・家では出来ない内容やプログラムを毎回先生方が考えてセラピーしてくれています。今まで出来なかった書字や身体の使い方、言葉によるコミュニケーションなどが出来るようになっており、てらびあぽけっとに通わせていただけて子供も成長をすごく感じる事ができています。 ・教室での様子も細かく共有してくださり、色々なプログラムを通してステップアップできています。 ・幼稚園で縄跳びをしていると伝えると直ぐにセラピーにも取り入れていただいたり、トイレトレーニングも本人の状態に合わせて頂く等、タイムリーな対応をして頂いています。 ・子供の意見も取り入れていただけているようで、ありがたいです。 ・子どものことをよく理解していただき、様々なプログラムで日々工夫して取り組んでいただけるので、大変ありがたいです。子供も楽しく通っていること、また先生方から温かく接していただき、親としてもてらびあぽけっとの先生方の存在に救われています。	教材や提示の仕方や声掛けにも工夫を凝らし、意欲を引き出すことができるようなプログラムを展開しています。スタッフミーティングでは教材研修の時間も設け、職員同士で情報交換をしています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	31	0	・幼稚園に通っているのですが、特に必要と感じていないです。	教室内の掲示板を通して、ウォーキングや芋ほりなどの地域の交流イベントのご案内をしています。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	0	0	・契約時に伺いました。利用日数の変更など、質問した時にも丁寧に教えていただきました。相談にも直ぐに応じてもらえています。 ・契約時に伺いましたし、不明点があった際は丁寧に答えていただきました。	契約時にご説明しております。ご不明な点がありましたら、随時ご説明いたします。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	0	0	0	・面談で丁寧に説明いただいています。 ・こういうことができるようになったらいいなと思う内容の支援計画になっています。具体的にどのように支援をするのかについても説明してもらっています。	今後も個室にて丁寧に、分かりやすくご説明できるように努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	32	0	0	1	・毎月家庭で取り組めるホームエクササイズと教えていただき、それをやることで身に付く力も教えてもらって役立っています。 ・困り事は尽きないのですが、個別相談させていただいた際に、パパへの接し方についてアドバイスいただき、緩く実践中です。そのおかげか、子どもとお父さんの関係に変化が見られました。感謝しています。	連絡アプリを通して、毎月全利用者様にご家庭でできるホームエクササイズを配信しております。ティッシュや紙コップなど、必要なものがある月には、直ぐに取り組んでいただけるようにグッズもお配りしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33	0	0	0	・連絡アプリでもレッスンの内容や親のコメントに丁寧に対応していただいています。 ・連絡帳のフィードバックも丁寧に書いていただいているので、いつも読むのが楽しみです。 ・連絡アプリで送った内容をその日のうちにフィードバックしてくださることも有難いです。	連絡アプリや送迎時にお会いした時にお子様の様子を伺っています。送迎には保護者様、祖父、母様、きょうだい様に来てくださり、ご家族皆様にお会いできることを嬉しく思っております。毎回の送迎をありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	0	0	0	・子供の特性に合わせたカリキュラムを提供していただき、親が気になるポイントも定期的にヒヤリングいただけており、子供の成長に繋がっております。 ・毎回行き渋ることなく、楽しみに通わせて頂いています。親も相談に乗って頂いたり、子供の成長の様子と一緒に喜んで頂き、いつもありがとうございます。 ・希望すれば、いつでも面談していただけています。 ・相談がある時には、直ぐに話を聞いてくださり、何度も助けられました。	ご相談事を聞かせていただいた時には、お子様に応じた方法で、直ぐに取り組めるようなご提案ができるように努めています。日々の暮らしの中で、ちょっと前向きな気持ちになれるような方法を一緒に考えていきたいと考えております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	0	0	0	・通い始めて3年になります。先生方のおかげで出来ることが増え、どの先生も優しく息子のことを見て下さっているので安心して預けることができています。 ・車の送迎などで大変な時に、車まで迎えに来ていただき助けられています。 ・日頃より息子と私達親に寄り添ってくださりありがとうございます。いつも助けられています。てらびあのセラピー後はスッキリした気持ちで帰ってくるのが多く、先生方が息子を認めてくれて気持ちを受け止めて下さっているからだと思っています。 ・まず共感から示してくださるので、安心してお話できます。 ・保育園に通う前から卒園まで、本当にお世話になりました。親身になって対応してくださり、ありがとうございます。	大切なお子様をお預かりしていることを常に心に持ち、日々の支援を丁寧にやっていきます。連絡アプリには、ご家庭であったほほえましいエピソードをご記入くださる方もおり、職員一同読ませていただくことを楽しみにしています。また、園での行事やご家庭での様子の動画を見せていただき、私たちも嬉しい時間となっています。ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30	1	2	0	・親のフォローや通所されている保護者様との交流機会も設けてくださり、ありがとうございます。思っていた以上にフォローしていただいております。 ・同じような悩みのある父親同士で話し合う機会がないので、保護者会は貴重な時間となりました。 ・保護者会で同じくールの利用の方とお話できる有意義な時間でした。 ・他の保護者の方とお話できる機会をいただけて嬉しかったです。 ・きょうだいを迎えに行った際には話しかけてもらえ喜んでいました。	今年度の保護者会はお子様の利用時間に数回に分けて開催しました。多くの保護者様にご参加いただき、ありがとうございます。来年度は、もう少し早い時期の開催を予定しております。また、きょうだい様にはミニイベントに参加していただくことも検討しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	0	0	1	・普段のセラピーだけでなく、日頃の困り事の相談に乗っていただいたり、幼稚園訪問をしてくださり、ありがとうございます。 ・「報・連・相」については、丁寧にフォローいただけており、安心して子供を預けることができています。 ・日々の悩みや困りごとに対して、直ぐにアドバイスくださり対応していただいているので、子どもはもちろん親もとてもありがたく安心して通わせていただいております。 ・不安なことがあれば直ぐに相談できるのでありがたいです。 ・園訪問を設定していただき、子どもの成長に繋がりました。 ・日頃の困り事や出来るようになってほしい事について親身に耳を傾けてセラピーに取り入れてくださっているのが助かっています。積極的に「相談してくださいね」と声掛けしてくださるのも、相談しやすく困り事を伝えやすくなっています。	事業所内で相談支援をしていることや、園訪問をしていることを面談時と掲示板でお知らせしたところ、多くの保護者様からご要望をいただきました。お困り事や心配事が軽減するように、今後もお話を耳を傾けて良い方法を一緒に考えていきたいと思っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	0	0	0	・連絡アプリがとても使いやすいです。 ・その日の活動の様子を丁寧に教えていただけるので、夫婦で読むのを楽しみにしています。 ・アプリの利用で、手軽に確実に伝達でき、セラピーの内容も把握できて、後から振り返って読み返すこともできるので便利です。 ・口頭や連絡アプリで情報共有がしっかりできていると思います。	お電話の他にメールや連絡アプリをご利用いただいております。お困り事やご相談には、できるだけ早い日時で面談予定を決めて、相談室にてゆっくりとお話を聞かせていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	1	0	0	・我が子が載っているのを見て嬉しくて、家族にも知らせています。活動の内容やその時の様子も伝わってきます。 ・ブログやインスタでも活動の様子が分かって良いです。	活動の様子をブログやInstagramを発信しております。「見てます」とお声掛けいただき嬉しく思っております。これからも活動の様子を写真や動画で配信してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	0	0	1	・入会時に丁寧に説明していただきました。 ・問題があるように感じていないです。	個人情報の取り扱いについての職員研修を行い、再確認しております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	0	0	0	・誤飲ややけど、救急車や消防車を呼ぶ時のことなどの資料を見て、知っているという時に役に立つと思います。 ・面談時に説明していただきました。	手に取って読んでいただきやすいように、各マニュアルごとにファイルに纏めました。毎月、安全についての職員研修も実施しております。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	0	0	1	・在宅時に地震があった際に、テーブルの下にもぐる姿に驚きました。家で教えたことではないので、こちらで訓練していただいたことが活かされていると感じました。 ・引き取り訓練もしてもらい、避難場所の確認にもなりました。	5月と11月に利用者と職員全員参加で避難訓練を実施しております。今年は避難場所への引き取り訓練にご協力いただき、ありがとうございました。来年度は地震や火災訓練に加えて停電時の対応についても訓練を実施する予定です。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	33	0	0	0	・横断歩道の渡り方や、水の事故、やけどにならないように気を付けることなど、季節に応じて様々なお話を聞いています。	季節ごとにテーマを決め、安全に過ごせるようお子様と保護者様にイラストを用いたプリントを掲示してご説明しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	0	0	3	・発熱した時に電話連絡をいただきました。そのまま小児科に連れて行けました。 ・転んで頭をぶつけた時には丁寧に説明していただきました。 ・事故や怪我に遭ったことがないので、わからないに印をつけました。	お子様の安全と健康を第一に考えて活動していきます。怪我や発熱・けいれん等への対応について職員研修を積み、万が一の時に直ぐに対応できるようにしていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32	1	0	0	・先生方から温かく接していただき、親としてもてらびあぼけつの先生方の存在に救われています。 ・子供が苦手としている事を重点的に教えていただき、それができるようになった時とても嬉しそうです。てらびあに通ってから、以前より明るくなりました。 ・どの先生方も子供と優しく楽しく向き合ってくださり、様々な先生と関わることでとても良い刺激になっているのではないかと感じます。 ・子が通所をいつも楽しみにしており、親としても嬉しいです。先生方のことが大好きなようです。子に関して心配なことがあれば直ぐに相談できる場があることにとても感謝しております。 ・先生に心を開いて安心して通っていると思います。 ・行く前に大泣きしていても、てらびあに着いたとたん泣き止んだりします。迎えに行った時の娘の笑顔を見ると、とっても楽しいんだというのがよくわかります。	てらびあぼけつが安心して過ごせる居場所とさせていただけるよう、これからもお子様と保護者様のお気持ちに寄り添い、温かな支援を心がけて参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	1	0	0	・通所先日の夜には「明日は～てらびあです♪」と楽しみにしているようです。 ・今日ではらびあだよと伝えると「やったー！！」ととても嬉しそうにします！ ・通所予定日以外も「行きたい」と本人が言うほど、毎回楽しく通わせていただいています。施設での様子も毎回わかりやすくお伝えいただき、ありがとうございます。 ・2年間いつも楽しく通わせていただき、生活の一部となっています。 ・てらびあぼけつに行くことがとても楽しみなようで、るんるんしながら通っています。先生とお話することも楽しみにしています。 ・まだ通い始めて3か月ですが、玄關まで送ると直ぐに教室に入っていくので、きっと楽しい場所だと思っているのだと思います。 ・手遊び歌を覚えてきて、家で歌ってくれます。勉強も楽しいと感じている様子で家でもやっています。	お子様の成長を共に見守らせていただけることを嬉しく思います。お子様はもちろんのこと、保護者様やごきょうだい様、ご家族皆様にお会いすることも楽しみにしております。これからも楽しく通っていただけるよう、支援に力を尽くして参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	0	0	0	・療育センターの通園が決定した時に、この教室を辞めなくて良かったと思っています。「誰かと一緒に遊ぶことの楽しさ」を実感できるようになり、自分の意思や感情を言葉で伝えられるようになりました。大きな成長を感じる年月でした。 ・先生方の温かい指導のおかげで、子供が伸び伸びと成長しており、感謝の気持ちでいっぱいです。いつも明るい雰囲気で、楽しく通っております。 ・興味の幅が広がり、以前より色々なことに挑戦できるようになりました。 ・小学校前最後の1年だからと思い切って土曜日のお休みをつぶしててらびあに通って本当に良かったです。毎週楽しい環境を用意してくださり、ありがとうございます。 ・まだ通い始めたばかりですが、もっと早く知って、長く通いたいと思える場所です。小学校に入学するにあたり、親が気づけなかった支援を受けられて大変満足しています。 ・今の成長があるのは、てらびあの先生方のおかげです。この評価シートの記入を通して、センター北教室の先生方がいつも丁寧に子どもたちに向き合って支援してくださっていることを改めて感じる機会となりました。本当にありがとうございます。今後とも、よろしくお願いいたします。 ・小学生に向けて不安な気持ちはありますが、てらびあでついた自信と経験を親子で生かしていきたいです。	たくさんのご意見・ご感想をありがとうございます。私達職員も、お子様との活動を楽しみにしております。頂いたお言葉を励みに、より良い施設になるよう職員一同力を合わせて取り組んで参ります。今後ともよろしく願いいたします。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと横浜センター北教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	静かな環境の個室スペースと身体を伸び伸びと動かせる大部屋の両方を用意しています。	冬は床が寒いので、マットを敷いてその上で遊ぶことができるようにしていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	交代で公休を取っており、配置数を厳守しています。	離職する職員がおらず、継続した支援を行えています。これからも安心して預けていただけるように適切な人数で支援を続けます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	イラストや写真を用いて、視覚的に分かりやすく表示しています。マンションにはエレベーターもついております。ベビーカーでの通所も可能です。	トイレの入り口に段差があるため、怪我のないように声掛けや見守りをしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	クール毎に換気、床のモップ掛けをしています。玩具や教材は消毒も行い、整理整頓を心掛けています。	引き続き、感染対策も講じていきます。床が固いので、転んで怪我をすることのないように見守っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	幼稚園の制服から私服に着替える時も、外から見えない個室で安心して着替えることができるようにしています。	一人で着替えられるお子さんの時も、声掛けをするなどして安全に気を付けていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	スタッフミーティングを毎月2回実施して意見交換を行っています。支援内容やプログラムも確認し、統一した支援を提供できるようにしています。	今後もチームワークを大切に、職員間で意見を出しやすい環境づくりに努めます。日々の気づきを取り入れていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	アンケート用紙にはフリースペースも設けて、広くご意見をいただいています。また、連絡帳や送迎時にもご意向を伺う機会を設けています。	保護者様から頂いたご意見を真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでいきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	朝礼や終礼で全員が発言する機会が設けられています。また、定期的に代表や管理者と面談する機会も設けられています。	相談にも応じてもらい、働きやすい環境が整えられています。業務に進進いたします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	第三者による外部評価を行っていないため、本部による指導を受けています。	引き続き、本部からのSVを受け、運営状況や支援内容の確認・指導を受け、業務改善に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	外部研修も含め、研修を受ける機会が多くあります。職員間で教材研修も行い、支援の質の向上につなげています。	研修で得た知識を活かし、今後も自己研鑽に励みます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	本部のホームページにて公表しています。	公表された支援プログラムを遂行できるよう努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	保護者様から日々の様子やご要望をお伺いし、5領域をバランスよく取り入れて支援できるように計画を立てています。	課題ごとのアセスメントシートも活用して、課題を分析し、支援に活かしていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	支援計画作成前(振り返り)と、次期支援計画周知の2回カンファレンスを行っています。会議の内容は書面でも確認できるようにしています。	引き続き、全職員で共通理解のもと課題達成へ向けて取り組んでまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	個人ファイルにも支援計画は綴じられており、内容を確認してから支援にあたっています。朝礼時にその日の活動を全員が報告し合い、担当以外のお子さんの活動も把握しています。	データを記録の時間を確保し、継続した支援が行えるよう努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	本部からのアセスメントシートを活用しています。また、発達検査の結果も参考にしています。	今後も現在の様子や背景情報も踏まえて、総合的に状況を把握・分析していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	お子さんの発達状況と保護者様のニーズを踏まえて、具体的な支援内容を提示しています。本人支援ではガイドラインに設定されている5領域を踏まえて立案しています。	家族支援に力を注いでいます。相談の機会を多く持ち、保護者様に寄り添う支援を心がけております。また、ご要望に応じて保育園・幼稚園との連携を図ることを今後も全保護者様にお知らせしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	保育士、臨床心理士、言語聴覚士、児童指導員が在籍し、専門性を活かして様々な観点から意見を出し合いプログラムの立案をしています。	職員間で意見交換や情報交換の機会を増やし、よりよい支援に繋がるように努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	担当を一人の固定制にせず、複数の職員で支援しています。前回の支援内容を確認し、季節に合った課題も取り入れるなど工夫を凝らしています。	課題設定に工夫を凝らし、自主性を育み、達成感や満足感から自己肯定感が高まるように支援を続けていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	小集団の活動では、活動に参加し楽しむこと、他にも待つことや譲り合うこと、協力し合うことができるように支援しています。	個別活動と集団活動の両方を取り入れていることが入会の決め手となったとお話も多いため、今後もどちらの活動も大切に進めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎朝ソファ一席で職員全員顔を合わせて朝礼を行っています。その日の活動の流れや支援内容について伝え合い共通理解を図っています。	小集団活動の活動では、担当を固定化せずに組み、状況に応じて臨機応変に進められるように柔軟性を持たせていきます。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	毎日終礼を実施して、支援の様子や気づきを共有をしています。ヒヤリハットに関しても伝え合い、改善策を練っています。	保護者様からのご要望やご意見も終礼で伝え、全職員で共通理解を図るようにしています。今後も継続して参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	各プログラムごとにデータを取り、検証しています。	データを記録する時間の確保に努めます。
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年を目安にモニタリングを実施しています。園での面談後等、ご要望に変化があった時には時期を早めて計画を練り直すこともあります。	年長児の最終支援計画は、支援期間が短くならないように少し早めにモニタリングをして就学を踏まえた支援が行えるように立案していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	管理者・児童発達支援管理責任者、虐待防止担当職員が参画しています。他事業所と関係を築ける場となっています。	年間通して積極的に参加し、意見交換を行い教室の支援に活かしてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	ご要望に応じて園訪問を進めています。幼稚園や保育園の先生が私たちの教室に見学に来て下さることもありました。	近隣の小児科と連携して支援を行う体制が整えられています。今後も連携の取り合えるよい関係を築いていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	昨年度末には、小学校や特別支援学校からの依頼があり、就学後の学習や活動の取り組みについて話し合いが持たれました。	入園や就学に向けて必要なスキルが身につけられるように、日々の支援に組み込んでいきます。集団生活が安心して過ごせるようにサポートしてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	就学先の小学校を訪問させていただく機会を設けてもらいました。小学校の実情など詳しく聞かせていただき、大変参考になりました。	貴重なお話をたくさんいただきましたので、卒園後を見据えて日々の支援に活かして参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	8	療育センターと併用しているお子さんの支援の見学をさせていただき、連携を図りました。	情報交換をすることはできましたが、今後はスーパーバイズや助言を受ける機会も設けて、支援に繋げていきます。
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8	事業所内で個別療育を行っており、保護者様からのご要望もいたため地域の子どもと直接交流する機会を設けていません。	地域交流の場となるよう、事業所内の掲示板を通して地域のイベント案内を続けます。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時や連絡アプリを通して様子をお聞かせいただいています。お悩み事がある時は、なるべく早い日程で面談のお声掛けをしています。	発表会や運動会の動画を見せいただく機会もあり、お子さまの成長と一緒に見守らせていただけることを職員一同嬉しく思っております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	親子で取り組めるホームエクササイズのご案内を毎月行っています。その課題に取り組むことで得られる効果についても、合わせてお知らせしています。	年齢や成長に応じて、ご家庭内で直ぐに取り組めそうなご提案を、更に親子やご家族で楽しんでいただけるようなプログラムを考案していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に管理者よりご説明しています。ご質問にも随時お答えしております。	今後も不明な点のないように、丁寧に説明していきます。
	37	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	お子さまの年齢が小さい場合は聞き取りが難しいため、保護者様からお話を聞かせていただいています。	お子さまの表情から伝わる気持ちも大切に、ご意向に沿った支援計画の立案ができるよう心掛けていきます。
	38	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	お父様の送迎も多いため、お母様だけでなくお父様にもご説明、同意のサインをいただいています。	引き続き、プライバシー保護の面からも、相談室にて個別にご説明いたします。ご不明点があった時にはその場でご説明いたします。
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者様からのお悩み事には、その日のうちに返信するようにしています。日程を決めて、相談室でゆっくりとお話を聞かせていただいています。	保護者様に寄り添い、お子さまに合った具体的かつ直ぐに取り組めそうな助言となるように心掛けています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	今年のご利用時間中に保護者会を開催したこともあり、多くの方々に参加していただきました。ごきょうだい様も数名きてくださいました。	卒業生の保護者様のお話も伺いたいのご意見をいただきました。来年度に向けて、参考にさせていただきます計画を立てていきます。
	41	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	ご相談の上、なるべく早い日時での面談を設定しています。来所の負担が減るようにご利用時間内にお話を伺っています。	平日の午前中の方が幼稚園に子供を預けていて話やすいとの声もありますので、ご要望に応じて面談の日時を決めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	Instagramを月に数回更新しています。画像だけでなく動画もアップして、活動内容がより伝わるように工夫を凝らしています。	ブログも楽しみにしてくださっている保護者様もおられ、声をかけていただき励みになっております。今後も活動の様子を発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報に鍵付きの書庫に書類を保管し、情報が流出しないように努めています。契約時にも個人情報の取り扱いについてもご説明しています。	今後もSNS等に写真を載せる場合、個人が特定できないようにスタンプ加工を施していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	視覚的に分かりやすくイラストや写真を用いて説明したり、要望等を口頭で伝えたいとご要望があった際にはお聞き取りシートに代筆したりしています。	引き続き、合理的な配慮ができるように努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	今年度、数か月に及ぶマンションの大規模修繕工事があり、作業にあたる業者の方々から騒音などに対してご配慮いただきました。	地域の方々をお招きする予定はございませんが、児童発達支援をしている施設ということを看板にてお知らせしています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	避難場所をご案内し、引き取り避難訓練も実施しました。いざという時のために、備えてまいります。	各マニュアルを一冊ごとに分けて分かりやすくファイルし、相談室の机の上に置きました。面談時に保護者様にご案内しています。

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	本部のSVを受け、業務継続計画ファイルの確認をしました。実際に避難リュックを背負って避難場所に移動する職員訓練を実施しました。	非常災害時の備えについて、充分な量の確保に努めます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時に確認をしています。てんかん発作時の対応についてマニュアルを作成し、迅速に対応できるようにしています。	マニュアルを職員の目に触れる場所に掲示しています。落ち着いて対応できるように毎年研修も行っています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	8	牛乳パックや卵パックからもアレルギー反応を起こすことも考えられる為、教材に使用しないことにしています。	食事を提供するプログラムを実施していないことから、医師の指示所に基づく対応は行っておりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	年間計画を作成し、毎月職員研修を行っています。年に2回地震や火災を想定した避難訓練を全利用者で職員で実施しています。	ご家庭にいる時間に起きた地震時にも、机の下に移動して身を守るポーズができたとご報告いただきました。般化できるよう取り組みを続けます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	年に4回、子供向け・保護者様向けに安全に関する注意喚起を行っています。掲示板にもプリントを貼りお知らせしています。	季節に応じて、交通事故や水の事故、熱中症ややけどについてもイラストや写真を用いて注意喚起を行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎月スタッフミーティングで事例報告をしています。同じことが起きないよう、職員同士で注意を払っております。	事前に危険を把握して、対策を講じていきます。安全・安心して過ごせるように細心の注意を払います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	年に3回の職員研修を行っています。映像資料も用いて、事例研修から意見交換も行っています。	普段から職員同士も話しやすく協力しやすい関係を築いています。複数の目で支援にあたるように努めます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	職員研修では具体的な事例を通して意見交換を行い、身体拘束が必要な場面について話し合いました。	入会時に身体拘束について保護者様に説明をして了解を得ています。重要事項説明書に記載してお渡しています。

事業所における自己評価総括表			
公表			
○事業所名	てらびあぽけっと 横浜センター北教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 8日 ～ 2026年 1月 17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 33 (ごきょうだい2家族)
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25日 ～ 2025年 12月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士が連携して、専門性を生かした支援を行っている。	保育士・児童指導員・言語聴覚士・公認心理師が在籍しており、それぞれの専門性を活かして意見交換や教材研究を行っている。教材も多く、内部研修や外部研修を受ける機会もあり、学ぶ環境が整えられている。	今後も質の高い支援の提供を目指し、自己研鑽に励む。研修で学んだことの情報交換を行い、互いにスキルアップを図る。また、意見を出しやすい、相談しやすい職場の環境作りに努める。
2	小集団と個別療育の両方をバランスよく取り入れている。	個室では一人一人のご要望に応じた個別療育を行い、大部屋の広いスペースを有効活用して、粗大運動やゲーム性のある小集団活動にも取り組んでいる。	動と静のメリハリを意識して支援にあたる。日常生活だけでなく、園生活や就園・就学を見据えて、お困り事を減らして安心して過ごすことができるように支援を継続する。
3	保護者様に寄り添い、個に応じた支援を提供している。	送迎時や連絡アプリのやり取りを通して信頼関係を築き、話しやすい雰囲気になるよう努めている。ご相談に対しては、なるべく早い日時で面談時間を設けて傾聴。具体的かつ取り組みやすい助言を心掛けている。	お一人お一人のお子さまを大切にする気持ちを忘れずに、支援に力を尽くす。引き続き、相談支援や園との連携を行うことをご案内して、ご要望に応じる。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	卒園後の継続した支援	卒園後も継続して通い続けたいとのご要望をたくさんいただくのだが、児童発達支援は未就学児が対象のため就学後の継続した支援が難しい。	小学校の移行支援のあり方について、本部からの助言を受けて可能な方法を模索していく。夏休みに卒業生とご家族様をお招きしたイベントを開催しご好評いただいたので、今後も開催を検討していく。
2	イベントの企画	日々の支援と並行して開催することになると、運営可能な範囲が狭まる。(参加人数・担当する職員の人数、イベントを行う場所など)	療育時間に保護者会を実施したところ、参加しやすかったとの声をいただいた。年に数回実施してほしい、参加人数がもう少し多い方が良いとご意見もいただいたため、ご要望に応じた会の実施に向けて検討したい。
3	きょうだい児の交流の機会	同じ時間に一緒に活動することは難しく、どのような参加方法があるのか模索している。	送迎時に教室に来てくれたごきょうだい様には夏のミニイベントに参加してもらった。また、ホームエクササイズでご家庭で一緒にできる活動のご提案をした。今後もどのような取り組みができるのか職員間で検討していく。